# 愛車の話３

旭川市医師会
JA北海道厚生連 旭川厚生病院　貴田岡（きたおか）　亨（とおる）

過去２年同じ時期にスズキJB23ジムニー10型、ホンダS660モデューロＸの話を寄稿させていただきましたが、今回は我が家における３台目の愛車であるスズキハスラー（現行型・２代目）を紹介させていただきます。ハスラーはご存じの方も多いと思いますが、ワゴンＲをベースとした軽クロスオーバー車で、初代は2013年12月に発表され2014年１月に発売されました。広い室内と高めの最低地上高による使いやすさと、何よりそのポップな外観で大ヒットとなり、今やスズキの屋台骨を支える重要な車種となっています。現行型は新世代プラットフォームが採用された２代目で2020年１月に発売されました。２代目もよく売れており街中ですれ違う機会も多いかと思います。

我が家に現行型ハスラーがやって来たのは、その春に札幌で新社会人生活をスタートさせる娘用にというのが理由でした。購入にあたって競合したのはホンダN-boxとN-one、そしてスズキスペーシアで、個人的にはN-oneの軽自動車らしからぬどっしりとした乗り心地が気に入っていたのですが、ジムニーやS660の日常使いにおける不便さに辟易していた娘と妻の賛同は得られず。車内空間はN-boxとスペーシアが圧倒的に広いのですが、最終的にハスラーが選ばれたのは、そこそこに広い適度な車内空間と積雪時にスタックし難い最低地上高と大きめのタイヤ＆ホイール、そして何よりなんとも可愛らしく力強い外観が気に入ったというのが一番だったようです。とはいえ、娘も妻も私ほど車に興味はないため、消去法といった側面もあったように思います。

私もそれまでの２台と比べると、自分で凄く気に入って購入したという訳でもないので、当初はあまり思い入れもありません。自分用の車を購入する際には様々なオプションパーツを装着するのが常でしたが、ハスラーには娘と妻のリクエストでリアエンブレムにパンダのデコステッカーを装着した程度でした（これがなかなか可愛らしい）。

ただ、乗ってみるとこれが実に良い車なのです。乗り心地はSUVっぽく中々に重厚だしマイルドハイブリッドエンジンはとても燃費が良く、街乗りでも20km／L前後走ります。装着されているナビは９インチでJB23ジムニーやS660のナビと比べ画面が大きくとても見やすく、まるでガラケーと最新スマホの画面ほどの違いがありました。知っていましたが、やはり日常生活での使いやすさに関してはドアが４枚あった方が断然便利。スズキセーフティーサポートによる安全支援装置に至っては、同じスズキ車であるJB23ジムニーと比べると隔世の感があります。最新の安全装備ってこんなに進んでいるのですね（驚）。スーパーへ買い物に行く時にはハスラーが選ばれますし、地方の私の実家へ行く際もいろいろ荷物を持っていく都合もありハスラーの出番。そもそも実家の年老いた高体重の母をリフトアップしたジムニーに乗せるのは一苦労ですし、S660に至っては助手席に乗せたが最後、おそらく永久に引っ張り出せなくなるのではないかと恐怖すら覚える次第です。

娘が仕事に慣れたら札幌へ行く予定だったハスラーですが、札幌で手頃な駐車場が見つからず、そもそも使う暇があまりないということもあり、購入後４年目の現在も基本的に我が家の駐車場に鎮座しており、専ら10数キロ先の職場へ自動車通勤する妻の便利な足になっています。昨年春～秋に期間限定で駐車場が使えるとのことでハスラーが札幌の娘のところへ行ったことがあり、妻は私のJB23ジムニーで通勤する事になりました。リフトアップジムニーを運転する妻の姿を見るのもまあまあ面白かったのですが、妻は大径オフロードタイヤを履くこのプリミティブな車にあまり愛着を持っておらず、晩秋に札幌からハスラーが我が家に戻って来た時は娘が里帰りした時と同じくらい嬉しそうでした。

ところでおそらくこの雑誌が発行される頃にはJB23ジムニーが９年目の車検を済ませている見込みです。この機会にサマータイヤを新調しようか、現在のマッドテレーンタイヤは流石にハードで厳しくなってきたので、今度はオールテレーンタイヤにしようかなど。このようなことを考えながら雑誌やネットでカタログを調べている時間は相変わらず夢のように幸せです。

幸せといえば我が家の軽自動車３台は全て自分１人でタイヤ交換をしています。油圧ジャッキとクロスレンチを駆使して最後はしっかりトルクレンチで規定圧に締め上げて行くのですが、交換が終了した時はなんともスッキリした気分になり結構な幸せを感じます。現代の車は総じてタイヤとホイールが大きくなっており、20インチや21インチの車も珍しく無くなってきました。自力でタイヤ交換を行うのであれば、多分ジムニーのオフロードタイヤ＋16インチホイールが私の限界です。大きなタイヤとホイールをお店に預けて交換して貰う人生はきっと便利で安楽なのだろうと思いますが、昭和からの車好きとしては、運転免許を手放すときまで、可能ならタイヤ交換は自分１人で完遂し続けたいな、と思う今日この頃です。

相変わらず大好きで所有してみたい車も多いのですが、これ以上増車するのはいろいろな理由でかなり難しいので、引き続きJB23ジムニー／S660の２台を大事に乗り継いで行きたいと思っています。ハスラーも札幌へドナドナされて行くその日まで大事にするつもりですが、その未来は実はそう遠くないのかもしれません。その光景を想像した時に少し悲しくなるのは、きっとハスラーのことも大好きになっているからなのでしょう。

**愛車３台**